



# 帝京大学小学校だより

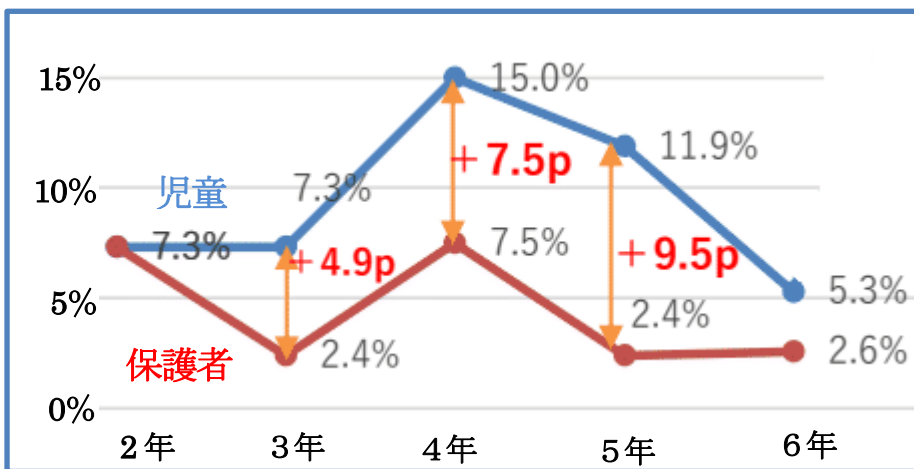
帝京大学小学校

## GIGAスクールと情報モラル教育

帝京大学小学校 校長 石井 卓之

文科省のGIGAスクール構想がコロナ禍で加速し、日本中の義務教育段階の学校で一人1台のタブレット端末の導入や環境整備が進んでいます。デジタル化が遅れていたといわれる教師の世界でも、ZoomやTeams、Slackが使われるようになり、全国の教員や海外の教育関係者とも日常的に情報交換ができるようになりました。世界の国々が身近になってきたことを実感しています。

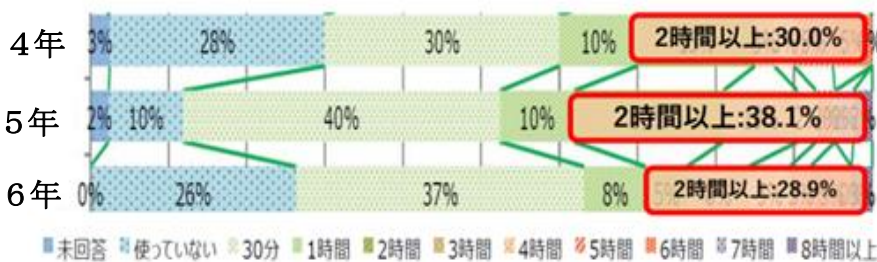
### 「ルールが無い」と回答した児童、保護者の割合



昨年度末のお忙しい中、ネット利用に関する実態調査を実施させていただきました。(協力:教育ネット) 調査結果を基にした学校診断レポートでは、①3年生～5年生で特に、児童と保護者のルール意識がズれている。②保護者が勉強に活用していると思っている時間に、学習以外の利用をしている可能性がある。などのことが分かりました。また、今後は、①低学年:インターネットの仕組みやタブレットの取り扱い方について学ぶ情報モラル授業を行う。②中高学年:ルールを作ることの大切さや、家庭内で確認し合うように促す情報モラル授業を行うなどの必要性が指摘されました。

### 利用時間に関する実態

**児童** 家で勉強(調べもの等)のためにケータイ、スマホやパソコンなどを使っている時間は一週間あたりどのくらいですか?



**保護者** お子さんが家で勉強や調べものためにケータイ、スマートフォンやパソコンなどを利用している時間は一週間でどの程度ですか?



9月から中学年以上、一人1台のタブレット端末の導入が始まります。まずは6月の安全教育で、3年生には「使い方のルール」、5年生には「課金トラブルの防止」について、教育ネットの講師より、指導を受けます。また、年度末には保護者向けの講座も実施する予定です。

授業への積極的な活用と並行して情報モラル教育を専門家の力も使いながら進めていきます。